

平成 25 年度事務事業評価調書

事業コード	03040302	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名	図書室運営事業	担当部署名	教育課	
		作成責任者職氏名	課長 中野光二	内線 650
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)	
	03教育・歴史・伝統	04生涯学習の充実	03図書システムの充実	
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成5年度～ 年度)		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	—	義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

<p>(1)事務事業の目的及び内容</p> <p>①目的 読書機会の提供による村民の知性、感性を磨く一助を担う。</p> <p>②内容 貸出業務、図書購入、府立図書館・他市町図書館の図書貸出の取り次ぎ。</p>	<p>(2)対象(誰を対象とするのか) 村民・村内在勤者</p>
<p>(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか) 図書室利用者を増やし、読書の啓発に努めるなど村民の生涯学習の機会の充実が図れる。</p>	<p>(4)事務事業を進める上での課題や問題 時代の変化とともに個々に応じたサービスが求められており、特に高齢化社会になってきているため、施設を利用する公共機関の充実等が求められる。</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
		23 年度 実績	24 年度		25 年度 事業費(見込)	26 年度 事業費(見込)		
			事業費(予算)	実績(見込)				
事業費(見込含む)(千円)(A)		3,350	2,490	2,783	2,562	2,562		
財 源 内 訳	国庫支出金	1,489						
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財	1	1	1	1	1		
	一般財源	1,860	2,489	2,782	2,561	2,561		
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,664	1,664	1,664	1,664	1,664		
総コスト費(千円)(A+C)		5,014	4,154	4,447	4,226	4,226		
人口あたりコスト(円)		827	685	734	697	697		
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	24 年度			25 年度 目標値	26 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	貸出し冊数	冊	17,000	15,518	91%	17,000	17,000
②	目標指標	貸出し人数	人	4,450	5,135	115%	5,200	5,200
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 207% / 2 = 103% (A)

Ⅲ 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	生涯学習の充実により妥当である。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	ネット予約が可能となり利便性が向上したことにより効果がある。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	図書業務は非常勤対応のため効率性はよい。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	村民誰もがネット予約可能であり、公平性が保たれている。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16) **13** / 16 **81%** (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
103%	81%	92%	a
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

Ⅳ 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
B	
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
村民の生涯学習の機会を与えるものであり、引き続き実施する。	

Ⅴ 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
図書会場の提供に必要な施設であり引き続き実施すべきと考えるが、今後、さらにサービス向上、広域的な対応を検討する必要がある。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	/ A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
図書会場の提供に必要な施設であり引き続き実施すべきと考えるが、今後、さらにサービス向上、広域的な対応を検討する必要がある。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止